



# 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)との グローバルパートナーシップ強化について

株式会社ファーストリテイリング  
グループ執行役員  
新田幸弘

## 世界を良い方向に変えていく

ファーストリテイリンググループが目指すのは、“服のもつチカラ”で  
社会や人々の生活を豊かにしていくこと。

世界中のあらゆる人々に、良い服を着る喜び、幸せ、満足を  
提供することによって「世界を良い方向に変えていく」。

それが私たちの目指すCSRです。

# ファーストリテイリングと難民支援

- 2006年 ユニクロ「全商品リサイクル活動」を通じた難民への衣料支援を開始(2010年にジーユーでも回収開始)
- UNHCRを通じ世界37カ国・地域の難民・避難民に1000万点超を寄贈(2015年4月時点)
  - 現在、世界16カ国・地域で回収を実施

2011年 UNHCRとの間でアジア企業初のグローバルパートナーシップを締結



自社の持つあらゆるリソースを最大限活用し、  
世界の難民問題の包括的な解決に  
寄与することを目指す

# 難民支援の4つの柱

## 事業活動との連動

商品を通じて

店舗・生産ノウハウを通じ

売上を通じ

従業員を通じ

衣料支援

自立支援

緊急支援

啓発活動



- 37の国と地域に  
1,000万点寄贈

- 13名の難民出身  
従業員を雇用
- バングラデシュの  
ロヒンギャ難民女性に  
生理用ナプキン生産  
プログラム(2012年)

- アフリカの角  
危機200万ドル  
寄付(2012年)
- シリア人道支援  
100万ドル寄付  
(2013年)

- 従業員による出張  
授業を全国の  
小中高校238校  
26,300人の児童  
生徒に実施

# 変化する難民支援ニーズ

---

世界各地で急増する難民  
支援資金不足の深刻化



緊急支援から帰還・定住促進まで  
支援ニーズの大幅な拡大と多様化



従来の枠組みを超えた支援体制の必要性



## 2015年、ファーストリテイリングとUNHCRの グローバルパートナーシップは新たなステージへ

- **グローバルパートナーシップに基づき新たな支援に関する合意書を締結**
- **国際機関と民間企業による一層高いレベルでの連携を実現**
- **「自立支援」の要素を強化した取り組みを拡大**

# 新たな支援の取り組み

---

## ■ 衣料支援の拡充

- 「1,000万着のHELP」プロジェクトを通じた中古衣料寄贈
- バルカン半島諸国およびアフガニスタンの難民・避難民への越冬支援としてヒートテック15万点寄贈

## ■ 緊急フェーズから帰還・定住に向けた就労支援まで包括的な課題解決への取り組み

- 3年間で総額1,000万ドル(約12億円)の支援
- 国内外での難民雇用100名に拡大

緊急支援

衣料支援

# 「1,000万着のHELP」プロジェクト

1,000万着の服を全世界の難民・避難民に届ける  
「1,000万着のHELP」プロジェクトを10月より開始

- グループ全従業員を巻き込んだ活動
- ブランドアンバサダーアダム・スコット氏、  
国枝慎吾氏による情報発信
- 大学20校、お取引先80社による協力
- 地域コミュニティを巻き込んだ回収協力





# 難民への越冬支援

緊急支援

衣料支援

新品の極暖ヒートテック15万点をバルカン半島諸国およびアフガニスタンに逃れている難民・避難民に対しUNHCRを通じて年内寄贈予定



(c)UNHCR/A.McConnell  
Greece; Syrian refugees arrive on Lesbos

# 1,000万ドルの支援

緊急支援

自立支援

難民問題の包括的な解決に寄与するため、UNHCRに対し  
2016年から3年間で総額1,000万ドルの支援を実施

## 緊急支援

3年間で300万ドル



毎年最も緊急性の高い  
人道危機に対する拠出

## 自立支援

3年間で550万ドル



職業訓練や自立にむけた技術習得の  
機会を提供するプログラム。2016年より  
アジアに焦点を当てスタート

衣料配布補助：3年間で150万ドル

衣料支援の要請を容易にするため、UNHCR各フィールドへの衣料配布コストを補助

- 難民の生活再建と自立の基盤となる就労機会を提供
- 2011年より国内ユニクロ店舗で難民インターンシッププログラムをスタート  
現在13名が東京近郊の店舗で勤務。うち、2名が地域正社員として活躍  
日本語習得支援やキャリア面談を通じて日本社会への定着をサポート
- 今後、国内外のユニクロ店舗で約100名の雇用を目指す





# 今後の難民支援の方向性

難民を取り巻く情勢およびニーズの変化を踏まえ、  
服のビジネスの枠組みを活用した包括的支援を強化していく

過去  
(2006年～)



- 服による難民支援
- 緊急時のキャッシュドネーション

現在  
(2015年)



- 衣料支援の拡大
- 難民の就労支援

今後  
(2016年～)

- 難民を対象とした「自立支援プログラム」の本格スタート
- 「難民雇用」の拡大
- 「衣料支援の進化」  
迅速な支援を実現する備蓄倉庫の増設、擬似店舗型ディストリビューションセンター構想等
- 「民間連携」の強化

# 世界を良い方向に変えていく

